



スタート

ハザードマップ(※)で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。
※洪水・土砂災害の2種類があります

家がある場所は警戒区域などに入っていますか？(色が塗られていますか？)

はい

災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、町が開設している**避難所に避難**しましょう

いいえ

※色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報などを参考に必要に応じて避難してください。

避難行動判定フロー



平成22年台風9号の際に増水した酒匂川

台風時の行動を確認しましょう！

9月は台風シーズンです。台風・局地的大雨などによる水害が発生する前に、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと発災時にとるべき行動を事前に確認しておきましょう。

新型コロナ禍においては、各人が感染予防対策をとることが大切です。次のポイントに留意し、平時から事前準備及び災害時の対応を考えておきましょう。

- ・3密の回避など、避難所でも基本的な感染症対策を実行しましょう。
- ・安全な親戚、知人宅への避難など、分散避難の検討をしましょう。
- ・避難所で物資が不足する場合があります。マスクやウェットティッシュ、体温計などは各自で用意しましょう。

避難情報等

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に 災害が発生している 状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 (市町村が発令)
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) (市町村が発令)
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその 支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難 開始 (市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

防災気象情報

警戒レベル相当情報(例)

警戒レベル5相当情報

氾濫発生情報
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報

氾濫危険情報
土砂災害警戒警報 等

警戒レベル3相当情報

氾濫警戒情報
洪水警報 等

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考となる情報です。

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況は急変することもあります